

兵庫県のにり漁場環境情報 (淡路周辺海域 11号)

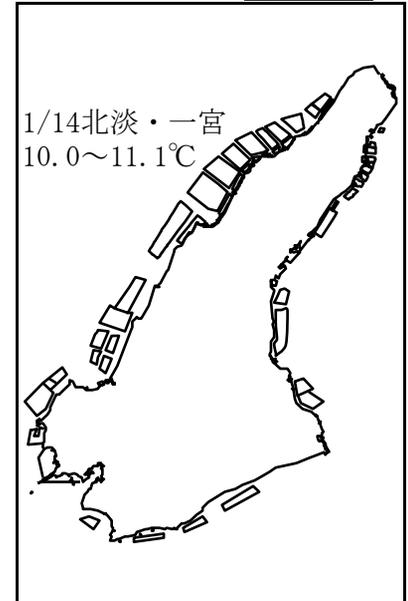
2021年 1月18日発行
 兵庫のにり研究所

珪藻は淡路周辺海域全般に、コシノディスカスや連鎖して肉眼視される筒状の珪藻等が散見されます。窒素は、西浦海域で全般に $1 \mu\text{g-at/L}$ 台前半、東浦北部及び南浦海域で $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、東浦南部海域で $3 \mu\text{g-at/L}$ でした。

(珪藻ほか)

コシノディスカスは、阿万～由良漁場にかけての淡路南方域で海水1Lあたり70～100細胞とやや多い状況。それ以外連鎖して肉眼視される筒状の珪藻等が全域で散見される。窒素は、播磨灘に面する西浦で $1 \mu\text{g-at/L}$ 台前半と減少傾向にあるが、それ以外の海域では概ね前回 (1/7) 調査と同様の状況で推移している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.7	2.6	5.2	3.9
	リン	0.44	0.43	0.51	0.51
西浦地先	窒素	2.1	1.4	4.3	3.5
	リン	0.49	0.44	0.53	0.53
南浦地先	窒素	3.1	1.7	4.6	3.4
	リン	0.52	0.42	0.52	0.52

(1/7) (1/20)

栄養塩 (窒素) 図

2021年 1月18日調査

